

一般質問通告書 12月議会

平成29年12月5日～13日

番号	件名	氏名
1	農業、漁業振興について	清水敏保
2	祝島小学校の今後について	清水敏保
3	ユネスコ記憶遺産登録後の朝鮮通信使活用について	山村泰志
4	一番の心残りは農道整備	山戸貞夫
5	ふるさと納税について	海下竜一郎

5件 4人

定例会一般質問通告書

平成29年第4回上関町議会定例会（12月）

◆質問者1 清水 敏 保	
質問事項	質問要旨
1. 農業、漁業振興について	<p>本町の基幹産業である農業、漁業は従事者の高齢化と後継者不足等により厳しい状況であることはご承知のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none">・農業においては農地条件は決して良くないなかで、今日まで努力され農業を守ってきました。 <p>ところが、最近では農作意欲をも失わせるような有害獣による被害が拡大し、対策が追いつかない状況にあります。今後、さらなる対策が必要と考えますが如何でしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none">・祝島の農道は劣化により小規模な維持補修を実施していますが、今後も農道整備の継続が必要となります。県道祝島線ががけ崩れが発生し、現在通行止めとなっています。一日も早い復旧が求められますが見通しについてお尋ねします。・漁業においては就業者の減少や高齢化、水産資源の減少、魚価の低迷、燃油の高騰など厳しい環境におかれている。国・県は水産基本法において政策目的の転換や施策対象を拡大しているようですが、これからの本町の漁業について、施策等があれば聞かせていただきたい。
2. 祝島小学校の今後について	<p>来年度に小学校に入学予定の子どもがいます。現在祝島小学校は休校中であり校舎も耐震性に問題があり、上関小学校に入学する予定と聞いています。保護者と十分話し合っ、最善の対策をとって児童が安心・安全に通学できるようお願いしたい。</p> <ul style="list-style-type: none">①新入生が通学する際、島から学校まで付き添い等必要となるがどのように考えているか②祝島小学校の再校は当然考えていると思うが、いつ頃になるのか校舎も含め尋ねる。

◆質問者2 山村泰志	
質問事項	質問要旨
1. ユネスコ記憶遺産登録後の朝鮮通信使活用について	<p>“朝鮮通信使船上関来航図”がユネスコ記憶遺産に登録が決まり、来年11月には通信使ゆかりのまち全国交流会上関大会も開催されます。大会を成功に導くには町全体での取り組みが必要で、教育委員会内での実行委員会体制では行動対応に限界があり、強力な支援体制が不可欠です。最近は通信使関係の遺跡巡りの訪問者も増え、道の駅、鳩子の湯も活用され観光振興の一助となっている。古来より漁業や海運業など生活圏が海中心で、海と共存した町である。</p> <p>次の2点について伺う。</p> <p>①“朝鮮通信使”も海を活用した観光振興の一つの起爆剤としての活用素材となると思うが、町長の見解は。</p> <p>②26年9月議会で御茶屋本門の石段復元について、教育長の答弁は「町文化財調査委員会に相談し、保存検討する」とのことでした。ユネスコ世界記憶遺産登録を記念して、石段と本門復元の取り組みをしてはどうか。教育長の見解は。</p>
◆質問者3 山戸貞夫	
質問事項	質問要旨
1. 一番の心残りは農道整備	<p>農産物の特産品化や加工事業、あるいは観光事業への展開など、原発財源に頼らない取り組みも含め、これからの町づくりを進めるにあたり、農道の整備は生産量や生産体制の確保に大きな影響があり、そのためにも、その畑につながる足は絶対に必要です。</p> <p>島の農道の惨々たる状況を見れば、改良の見通しもたてられなくて本当に心残りです。</p> <p>祝島の農道に関する現状把握と今後の方向性、そして町長の思いをお示しく下さい。</p>

◆質問者4 海下 竜一郎

質問事項	質問要旨
1. ふるさと納税について	<p>ふるさと納税については、ふるさと納税の制度を利用して地域の特産品や産業をアピールし、自主財源の確保はもちろんのこと産業の活性化また町の活性化へと繋げることができる取り組みで、町のほうでも力を入れているところだと思います。</p> <p>平成28年の実績は、寄付件数が692件、寄付額は2,700万円でした。</p> <p>ふるさと納税の寄付については11月・12月に集中すると聞いています。</p> <p>現在までの寄付金の申し込み状況と、また、来年度に対する取り組み・展望などがあれば伺いたい。</p>